

農地利用最適化推進委員団体推薦

被推薦者(推薦を受ける者)												推薦者(推薦をする者)						
氏名	性別	年齢	職業	経歴		農業経営の状況				推薦する区域	農業委員会委員への推薦の有無	名称	目的	代表者又は管理者の氏名	構成員		性格を明らかにする事項	推薦する理由
				年月日	職名・役職名等	営農類型	主な作物	経営規模	形態						人数	資格		
村上 浩樹	男	52	農業	平成29年4月1日 令和2年7月20日 令和4年2月12日 令和5年7月20日 令和5年9月1日	認定新規就農者資格 取得 農地利用最適化推進委員任命(第1期) (農)和の郷 代表理事就任 農地利用最適化推進委員再任(第2期) 認定農業者資格 取得	施設園芸	アスパラ スッキーニ	17a	専業	第6区	無	農地所有適格法人 農事組合法人 和の郷	農地の集積・集約化を促進して農作業を共同で行うことで農業経営の効率化を図る。	村上浩樹	16	主に平沼田地区に在住する農業者。過半は農地提供者。	農地所有適格法人(農地法第2条第3項)	村上氏は過疎化の進む平沼田地域を憂い職場を退職後に新規就農支援制度を受けて地元にて就農された。自らの基幹作物であるアスパラガス栽培と並行して地元の農事組合法人(和の郷)の作業組合員として従事していた。令和2年に若手農業者枠にて農地利用最適化推進委員に推薦され、任命された(第1期)。令和4年に前代表理事である村上俊治が病気を理由に退任され、その業務を引き受けて代表理事となる。令和5年7月に職務再任を強く推され再任を了承した。同年9月には個人認定農業者の資格も取得し、現在は法人の経営と個人の経営を両立させながら地域貢献を進めている。以上のことより農地利用最適化推進委員への推薦をするものとする。
岩本 新吉	男	75	農業	平成29年4月 平成30年4月 令和6年4月	山陽小野田消防団・高泊分団分団長 後潟上自治会長 後潟土地改良区理事長	水稲	米	400a	専業	第3区	無	後潟上農事組合	農業経営にかかわること	益永満晴	50	主に後潟上に在住する農業者	農地所有適格者	岩本氏は会社退職後、消防分団長、自治会長等歴任し、現在は農地利用最適化推進委員、後潟土地改良区理事長をされ、認定農業者であり、農地利用最適化推進委員として第3地区担当が3期で地域農業の維持、発展に貢献されている。今後も農地利用最適化推進委員として卓越した職見を発揮し、担当地区において農地利用最適化の推進を図っていただきたい。
池田 直美	女	72	農業	昭和49年4月～ 平成26年3月 平成26年4月～現在 令和 6年4月～現在 令和 3年5月～現在 令和 5年7月～現在	旧山陽町職員(保育士) 山陽小野田市職員退職 山陽小野田市母子保健推進員 山陽小野田市母子保健推進協議会 理事 山陽小野田市山陽更生保護女性会 事務局長 山陽小野田市農業委員	水稲 野菜 山林	米 ゆず シイタケ 梅	71a	専業	第7区	無	宇部・美祢地域農山漁村女性団体連携会議	宇部・美祢地域の農林漁業に関わる女性たちが相互に連携し、生産・生活への女性の能力発揮を促すとともに、地位向上や参画・登用に積極的に取り組み、農林水産業の振興と明るく豊かな地域づくりに資する。	大橋つや子	7組織 17人	宇部・美祢地域の農林漁業に従事する女性組織の会長並びに副会長	宇部・美祢地域の農林漁業に関わる女性組織が連携する任意団体	被推薦者は、山陽小野田市職員として勤務し、退職後は、母子保健推進員を務め、現在は、母子保健推進協議会の理事や、更生保護女性会の事務局長を務めるなど、長年、地域の社会福祉に貢献しており、農業者も含め地域からの信頼も厚く、人脈も広い。また、農業経営の面では、コンバイン、トラクター、乾燥機等を整備し、地域の重要な担い手である。現在、農業委員を務めており、今後、女性の視点から、農地利用最適化推進委員業務の遂行に貢献できると考える。
田村 恭子	女	76	農業	昭和47年 平成15年～現在 平成29年～ 令和2年～	結婚を機に就農 山陽小野田市植生遺族会 副会長 JA山口宇部植生支所女性部東側班長 山陽小野田市農地利用最適化推進委員	水稲 ハウス野菜 露地野菜	ナス トマト キュウリ等	80a	専業	第12区	無	宇部・美祢地域農山漁村女性団体連携会議	宇部・美祢地域の農林漁業に関わる女性たちが相互に連携し、生産・生活への女性の能力発揮を促すとともに、地位向上や参画・登用に積極的に取り組み、農林水産業の振興と明るく豊かな地域づくりに資する。	大橋つや子	7組織 17人	宇部・美祢地域の農林漁業に従事する女性組織の会長並びに副会長	宇部・美祢地域の農林漁業に関わる女性組織が連携する任意団体	被推薦者は、結婚を機に農業に従事し、長年、先祖代々受け継いできた田畑を守るために農業を継続し、過疎化が進む中でも地域に荒廃農地を出さないよう努めている。現在、農地利用最適化推進委員を務める他、長年、JA女性部活動の地域のまとめ役を務めるなど、地域での信頼は厚く、地域の農業事情にも精通しており、今後、女性の視点から農地利用最適化推進委員業務の遂行に貢献できると考える。
水津 治	男	75	農業	令和4年4月1日 令和5年7月20日	福田営農組合長に就任 農地利用最適化推進委員に就任 現在に至る	水稲	米	48a	専業	第14区	無	福田営農組合	地域の農作業を受託し、農業経営の効率化を図り、地域農業の継続に資する。	水津治	30	福田地区に在住する農業者	福田地区の農業の協業化を推進する任意団体	福田営農組合の設立当初から関与しており、地域の実情を周知しております。高齢化や後継者問題で農業に不安を抱える方が多くなってきています。そのため、農作業の効率化を図るために、農地の集約化に取り組んでいます。福田地域の農業の維持・発展のため、農地利用最適化推進委員に推薦するものであります。